

## 資 料

### 1. 予備実験の記録用紙

＜練習＞  
練習 1  
あかるい あさひだ。  
せんせいが ふえを ふく。

練習 2  
ともだち いるよ。  
ねこが いっぴき はしる。

＜2文＞  
2－1  
くまさんが ふくろを みました。  
とびばこが ありました。

2－2  
きつねが はしる。  
みんなは てを つないだ。

2－3  
大きな こえで よびました。  
わたしは たいいくかんに いきました。

2－4  
まるい わに なる。  
子どもたちが たいそうを している。

2－5  
ことばを みつけましょう。  
じどう車が、どうろを はしって います。

＜3文＞  
3－1  
とまれの あいずを する。  
ともだちの りすさんに ききました。  
人を のせて はこぶ。

3－2  
するどく とがった くちばしです。  
空は どこまでも つづきます。  
ふくろを あけました。

3－3  
がっこうの やねが みえた。  
あたたかい かぜが ふきはじめました。  
みんなが 手を ふった。

3－4  
きに あなを あけます。  
けしきが よく みえる。  
田んぼに なえを うえました。

3－5  
口を もぐもぐ うごかして たべます。  
おわりの チャイムが なりだしました。  
はなの いっぽんみちが できました。

＜4文＞  
4－1  
かけあしで うんどうじょうを まわる。  
こうえんで 虫を 見つけた  
げんき いっぱい すすんで いきました。  
タイヤが たくさん ついています。

4－2  
月が、水たまりに うつつて います。  
ぼくは、とても しんばいした。  
トラックは、にもつを はこぶ。  
おやまに あめが ふりました。

4－3  
町へ かいものに いきました。  
かたい たねの からを わります。  
わたしは 字を かくのが 大好きです。  
大きな まどが たくさん あります。

4－4  
さるは りんごを とる。  
山の 上に、日が のぼりました。  
しっかりした あしが、ついて います。  
おみずを ひとくち のみました。

4－5  
五百円で りんごを かいました。  
すきな たべものを おしえて ください。  
でんしゃが しゅっぱつします。  
男の子も 女の子も はりきりしました。

＜5文＞  
5－1  
さいごまで 力いっぱい はしった。  
ぼくは、ぜんぶで 五本 ほりました。  
うさぎの ほんを みつけました。  
竹やぶに 雨が ふりました。  
びょうきの人を びょういんへ はこぶ。

5－2  
ライオンは どうぶつの 王さまと いわれます。  
ぶんと えを かきましょう。  
ほんを よむ。  
はしの 下を、川が ながれて います。  
やまの はたけを たがやした。

5－3  
はなの みつを すいます。  
せんせいが ごうれいを かける。  
すきな 本 見つけた。  
かぶの たねを まきました。  
できごとの じゅんに ならべる。

5－4  
たぬきが いたずらを しました。  
おもい出の アルバムが できあがります。  
あさがおに はなが さきました。  
学校で 見つけた。  
みんなは、うたを うたいました。

5－5  
おすすめの はなしを しょうかいする。  
せんせいが うでどけいを みた  
おにいさんは、としょかんへ いきました。  
あたまに はっぱを のせました。  
犬は、ねこを よんできました。

＜練習＞

練習 1

あかるい あさひだ。  
せんせいが ふえを ふく。

練習 2

ともだち いるよ。  
ねこが いっぱき はしる。

＜2文＞

2－1

くまさんが ふくろを みつけました。  
とびばこが ありました。

2－2

きつねが はしる。  
みんなは てを つないだ。

2－3

大きな こえで よびました。  
わたしは たいいくかんに いきました。

2－4

まるい わに なる。  
子どもたちが たいそうを している。

2－5

ことばを みつけましょう。  
じどう車が、どうろを はしって います。

＜3文＞

3－1

とまれの あいずを する。  
ともだちの りすさんに ききました。  
人を のせて はこぶ。

3－2

するどく とがった くちばしです。  
空は どこまでも つづきます。  
ふくろを あけました。

3－3

がっこうの やねが みえた。  
あたたかい かぜが ふきはじめました。  
みんなが 手を ふった。

3－4

きに あなを あけます。  
けしきが よく みえる。  
田んぼに なえを うえました。

3－5

口を もぐもぐ うごかして たべます。  
おわりの チャイムが なりだしました。  
はなの いっぱんみちが できました。

＜4文＞

4－1

かけあしで うんどうじょうを まわる。  
こうえんで 虫を 見つけた  
げんき いっぱい すすんで いきました。  
タイヤが たくさん ついています。

4－2

月が、水たまりに うつつて います。  
ぼくは、とても しんばいした。  
トラックは、にもつを はこぶ。  
おやまに あめが ふりました。

4－3

町へ かいものに いきました。  
かたい たねの からを わります。  
わたしは 字を かくのが 大すきです。  
大きな まどが たくさん あります。

4－4

さるは りんごを とる。  
山の 上に、日が のぼりました。  
しっかりした あしが、ついて います。  
おみずを ひとくち のみました。

4－5

でんしゃが しゅっぱつします。  
五百円で りんごを かいました。  
すきな たべものを おしえて ください。  
男の子も 女の子も はりきりました。

＜5文＞

5－1

さいごまで 力いっぱい はしった。  
竹やぶに 雨が ふりました。  
ぼくは、ぜんぶで 五本 ほりました。  
うさぎの ほんを みつけました。  
びょうきの人を びょういんへ はこぶ。

5－2

ライオンは どうぶつの 王さまと いわれます。  
ほんを よむ。  
ぶんと えを かきましょ。う。  
はしの 下を、川が ながれて います。  
やまの はたけを たがやした。

5－3

はなの みつを すいます。  
せんせいが ごうれいを かける。  
すきな 本 見つけた。  
かぶの たねを まきました。  
できごとの じゅんに ならべる。

5－4

たぬきが いたずらを しました。  
おもい出の アルバムが できあがります。  
学校で 見つけた。  
みんなは、うたを うたいました。  
あさがおに はなが さきました。

5－5

おすすめの はなしを しょうかいする。  
せんせいが うでどけいを みた  
あたまに はっぱを のせました。  
犬は、ねこをよんできました。  
おにいさんは、としょかんへ いきました。

＜練習＞

練習 1  
かえるの うたが きこえてくるよ。  
朝食に パンを 食べる。

練習 2  
みんなで、校歌を 歌う。  
花は すっかり くれました。

＜2文＞  
2－1  
大いそぎで 家へ 帰りました。  
雪が まだ すこし のこっています。

2－2  
文の おわりまで しっかり よみましょう。  
犬が、ワンワン ほえています。

2－3  
青空が とても きれいです。  
古い 本を つみ上げる。

2－4  
あたりは しんと して います。  
黄色い バケツを 見つけました。

2－5  
どこへ 行けば、かぶと虫が とれますか。  
紙に 何か 書きました。

＜3文＞  
3－1  
花だんの 草とりを する。  
おやつの ケーキを 食べた。  
どこかで、 小さな こえが しました。

3－2  
みどり色の 小さな みが ついている。  
お寺の かいだんを 上る。  
あせが、たきのように ながれ おちています。

3－3  
アメリカの 画家の 絵を 見ました。  
おちばと どんぐりを あつめた。  
魚を つる まねを しました。

3－4  
広い 草原が 広がって います。  
とのさまは、おきやくを たくさん よびました。  
青い ワンピースを きて います。

3－5  
船が、川下に ながされる。  
馬は、とぶように かけます。  
竹やぶの かげに なった。

＜4文＞  
4－1  
がっきの音は、ますます うつくしく ひびきました。  
おさらを 二まい もってきました。  
うさぎの むいぐるみを もって います。  
朝から 雨が ふりました。

4－2  
月日は、とぶように すぎて いきました。  
文集の 名前を 考えましょう。  
細い 糸を あなに 通す。  
おおかみが、ひつじに とびかかろうと しています。

4－3  
よく ねて、体を 休める。  
すきな お話を しょうかい しましょう。  
空の 上で、お日さまが わらいました。  
生活科の時間に 秋まつりを しました。

4－4  
むね いっぱいに いきを すった。  
木の えだを 刀で 切る。  
海には、たくさんの 生きものたちが すんでいます。  
川へ 水を くみに 行きました。

4－5  
朝まで ぐっすり ねむりました。  
つぎの 形を よく 見ましょう。  
池の水が きらきらと 光って います。  
うさぎの 赤ちゃんを 見ました。

＜5文＞  
5－1  
春風が まだ こない。  
おばあさんを たすけて、ごはんの したくを します。  
屋上から 東京タワーが 見える。  
心に のこった できごとを 思い出した。  
明るい 月を 見ながら 歩く

5－2  
はじめの メモに つけたしましょう。  
ふきのとうが かおを 出しました。  
遠足で 遠くまで 行く。  
たなの 上に、金魚ばちを おく。  
きつねの 子は 目を さましました。

5－3  
もう、すっかり 春です。  
さかを 下ると、小学校が ある。  
きれいな オレンジ色の魚が うかんでいます。  
おかあさんが ぷんぷん おこる。  
数字の 書きかたを 教わる。

5－4  
川上から、ももが ながれてくる。  
学校で かん字を ならう。  
会社で コンピュータを つかいます。  
青い空が どこまでも 広がっていました。  
しずむ 夕日が うつくしく かがやく。

5－5  
ランプを 四こ うっています。  
先生の 話を 日記に 書く。  
きゅうに つよい 風が ふいてきました。  
こえに 出して、よみましょう。  
市場で バナナを 買いました。

＜練習＞  
練習 1  
かえるの うたが きこえてくるよ。  
朝食に パンを 食べる。

練習 2  
みんなで、校歌を 歌う。  
花は すっかり くれました。

＜2文＞  
2－1  
大いそぎで 家へ 帰りました。  
雪が まだ すこし のこっています。

2－2  
文の おわりまで しっかり よみましょう。  
犬が、ワンワン ほえています。

2－3  
青空が とても きれいです。  
古い 本を つみ上げる。

2－4  
あたりは しんと して います。  
黄色い バケツを 見つけました。

2－5  
どこへ 行けば、かぶと虫が とれますか。  
紙に 何か 書きました。

＜3文＞  
3－1  
花だんの 草とりを する。  
おやつの ケーキを 食べた。  
どこかで、 小さな こえが しました。

3－2  
みどり色の 小さな みが ついている。  
お寺の かいだんを 上る。  
あせが、たきのように ながれ おちています。

3－3  
アメリカの 画家の 絵を 見ました。  
おちばと どんぐりを あつめた。  
魚を つる まねを しました。

3－4  
広い 草原が 広がって います。  
とのさまは、おきやくを たくさん よびました。  
青い ワンピースを きて います。

3－5  
船が、川下に ながされる。  
馬は、とぶように かけます。  
竹やぶの かげに なった。

＜4文＞  
4－1  
がっきの音は、ますます うつくしく ひびきました。  
おさらを 二まい もってきました。  
うさぎの ぬいぐるみを もって います。  
朝から 雨が ふりました。

4－2  
月日は、とぶように すぎて いきました。  
文集の 名前を 考えましょう。  
細い 糸を あなに 通す。  
おおかみが、ひつじに とびかかろうと しています。

4－3  
よく ねて、体を 休める。  
すきな お話を しょうかい しましょう。  
空の 上で、 お日さまが わらいました。  
生活科の時間に 秋まつりを しました。

4－4  
むね いっぱいに いきを すった。  
木の えだを 刀で 切る。  
海には、たくさんの 生きものたちが すんでいます。  
川へ 水を くみに 行きました。

4－5  
朝まで ぐっすり ねむりました。  
つぎの 形を よく 見ましょう。  
池の水が きらきらと 光って います。  
うさぎの 赤ちゃんを 見ました。

＜5文＞  
5－1  
春風が まだ こない。  
おばあさんを たすけて、ごはんの したくを します。  
屋上から 東京タワーが 見える。  
心に のこった できごとを 思い出した。  
明るい 月を 見ながら 歩く

5－2  
はじめの メモに つけたしましょう。  
ふきのとうが かおを 出しました。  
遠足で 遠くまで 行く。  
たなの 上に、金魚ばちを おく。  
きつねの 子は 目を さましました。

5－3  
もう、 すっかり 春です。  
さかを 下ると、小学校が ある。  
きれいな オレンジ色の魚が うかんでいます。  
おかあさんが ぷんぷん おこる。  
数字の 書きかたを 教わる。

5－4  
川上から、ももが ながれてくる。  
学校で かん字を ならう。  
会社で コンピュータを つかいます。  
青い空が どこまでも 広がっていました。  
しずむ 夕日が うつくしく かがやく。

5－5  
ランプを 四こ うっています。  
先生の 話を 日記に 書く。  
きゅうに つよい 風が ふいてきました。  
こえに 出して、よみましょう。  
市場で バナナを 買いました。

＜練習＞

練習 1  
おばあちゃんから絵はがきが来た。  
春は、校庭のさくらがさきます。

練習 2  
今日は、朝早く起きた。  
ありの行列をよく見かけます。

＜2文＞  
2－1  
その日のできごとを記ろくする。  
町内の野球チームに入る。

2－2  
大事なことを、みじかい言葉で話す。  
明るい光が顔に当たった。

2－3  
帰り道、青い空を見上げた。  
ひとつまみのさとうをおきました。

2－4  
水につけてやわらかくしてからにる。  
すきなスポーツせんしゅのかつやくをかく。

2－5  
はるちゃんと三角公園でなわとびをした。  
じゅんじょが分かるように話す。

＜3文＞  
3－1  
友だちといっしょに音読しましょう。  
目がきれいにすんだわかものでした。  
母が温かいあま酒を出してくれた。

3－2  
やがて、単に帰っていきました。  
聞き間違いは、よく起こることです。  
庭の花が美しくさいた。

3－3  
ほんとうにあった出来事のようなお話です。  
ナットウキンの力をかりたのが納豆です。  
きつつきが、お店を開きました。

3－4  
ささごとゆでて食べるのが、えだ豆です。  
ぎもんに思ったことを発表しましょう。  
大きな星がきらきら光る。

3－5  
この湖は、たいへん大きい。  
見事に実った麦をかり取った。  
チームが一丸となって相手にぶつかる。

＜4文＞  
4－1  
においのある、じょうはつしやすいえきです。  
ページに番号をふる。  
花園児童館の場所を教えています。  
東西南北をしめす道しるべがありました。

4－2  
小さなたいが泳いでいました。  
木のてっぺんの近くのみきに止まりました。  
昔の人々のちえにおどろかされます。  
みんなちがって、みんないい。

4－3  
うんと長い時間がすぎてゆきました。  
米をこなにして作る食品があります。  
はらいたがなおって元気になった。  
パンダは木にもたれてすわっている。

4－4  
あまり高くない、なだらかなとうげでした。  
商品をとくちょうによって分類しているのです。  
新しいメニューを思いつきました。  
習った漢字を使って書こう。

4－5  
先生や係の人に相談してもいいですね。  
九州のおじさんに手紙を書きたい。  
ポートボールのチーム名を決める。  
ぶなの森に、雨がふりはじめます。

＜5文＞  
5－1  
そよ風にふかれてたくさんの花びらがまいます。  
しいんとだまって、目をとじました。  
スケートで三回転ジャンプをする。  
かわいい子馬の頭をなでています。  
自分の名前を大きな声でつげました。

5－2  
しんごうをわたり、歩道を左に進む。  
ため息の出るほど、よいながめでした。  
広くて平らな場所で練習する。  
わたしは、おじいちゃんに手紙を書きました。  
夕やけ空がだんだん暗くなりました。

5－3  
広場には、犬をつれた女の子がいます。  
新聞記者のインタビューを受けた。  
小川にささぶねをうかべよう。  
もう夕ごはんのしたくができていました。  
おばあさんはつきっきりで看病しました。

5－4  
山小屋で、さわやかな朝をむかえた。  
石につまずいて転んでしまいました。  
ばあさまのもらったずきんをかぶってみました。  
一週間で一輪車に乗れるようになった。  
あなたがしょうたいしたい人はだれですか。

5－5  
姉が、やさしい調子で話す。  
玉のような赤ちゃんが生まれた。  
さくの外から手をのばしました。  
お客様に二階の勉強部屋を見せる。  
太陽はもう頭のてっぺんに来ています。

＜練習＞

練習 1  
おばあちゃんから絵はがきが来た。  
春は、校庭のさくらがさきます。

練習 2  
今日は、朝早く起きた。  
ありの行列をよく見かけます。

＜2文＞  
2－1  
その日のできごとを記ろくする。  
町内の野球チームに入る。

2－2  
大事なことを、みじかい言葉で話す。  
明るい光が顔に当たった。

2－3  
帰り道、青い空を見上げた。  
ひとつまみのさとうをおきました。

2－4  
水につけてやわらかくしてからにる。  
すきなスポーツせんしゅのかつやくをかく。

2－5  
はるちゃんと三角公園でなわとびをした。  
じゅんじょが分かるように話す。

＜3文＞  
3－1  
友だちといっしょに音読しましょう。  
目がきれいにすんだわかものでした。  
母が温かいあま酒を出してくれた。

3－2  
やがて、巣に帰っていきました。  
聞き間違いは、よく起こることです。  
庭の花が美しくさいた。

3－3  
きつつきが、お店を開きました。  
ほんとうにあった出来事のようなお話です。  
ナットウキンの力をかりたのが納豆です。

3－4  
ささごとゆでて食べるのが、えだ豆です。  
ぎもんに思ったことを発表しましょう。  
大きな星がきらきら光る。

3－5  
この湖は、たいへん大きい。  
見事に実った麦をかり取った。  
チームが一丸となって相手にぶつかる。

＜4文＞  
4－1  
においのある、じょうはつしやすいえきです。  
花園児童館の場所を教えています。  
ページに番号をふる。  
東西南北をしめす道しるべがありました。

4－2  
小さなたいが泳いでいました。  
木のてっぺんの近くのみきに止まりました。  
昔の人々のちえにおどろかされます。  
みんなちがって、みんないい。

4－3  
うんと長い時間がすぎてゆきました。  
はらいたがなおって元気になった。  
米をこなにして作る食品があります。  
パンダは木にもたれてすわっている。

4－4  
あまり高くない、なだらかなとうげでした。  
商品をとくちょうによって分類しているのです。  
習った漢字を使って書こう。  
新しいメニューを思いつきました。

4－5  
先生や係の人に相談してもいいですね。  
九州のおじさんに手紙を書きたい。  
ぶなの森に、雨がふりはじめます。  
ボートボールのチーム名を決める。

＜5文＞  
5－1  
そよ風にふかれてたくさんの花びらがまいます。  
しいんとだまって、目をとじました。  
スケートで三回転ジャンプをする。  
かわいい子馬の頭をなでています。  
自分の名前を大きな声でつげました。

5－2  
しんごうをわたり、歩道を左に進む。  
広くて平らな場所で練習する。  
ため息の出るほど、よいながめでした。  
わたしは、おじいちゃんに手紙を書きました。  
夕やけ空がだんだん暗くなりました。

5－3  
広場には、犬をつれた女の子がいます。  
新聞記者のインタビューを受けた。  
小川にささぶねをうかべよう。  
もう夕ごはんのしたくができていました。  
おばあさんはつきっきりで看病しました。

5－4  
山小屋で、さわやかな朝をむかえた。  
ばあさまのもらったずきんをかぶってみました。  
石につまずいて転んでしまいました。  
一週間で一輪車に乗れるようになった。  
あなたがしょうたいしたい人はだれですか。

5－5  
姉が、やさしい調子で話す。  
玉のような赤ちゃんが生まれた。  
さくの外から手をのばしました。  
お客様に二階の勉強部屋を見せる。  
太陽はもう頭のとっぺんに来ています。

＜練習＞

練習 1  
テレビでサッカーの試合を放送しています。  
自分たちの学校での様子を知らせる。

練習 2  
お楽しみ会でするゲームを決める。  
自転車と同じ気持ちになったようだった。

＜2文＞  
2－1  
同じ話題に関心のある人どうしでグループを作る。  
となりにいた友達の手をにぎる。

2－2  
キュリー夫人の伝記を愛読している。  
頭に木の実が落ちてきました。

2－3  
かむことは脳の働きと結びついている。  
ダイヤモンドみたいな大きな石を見つけたこともある。

2－4  
ぼくの妹も、保育園で読んでいました。  
さむらいがこわい顔をして立っていました。

2－5  
ふろに入っている時間が短い。  
体育の時間に50メートル走をした。

＜3文＞  
3－1  
クラスの重大ニュースを3つ選ぶ。  
雪の中にぴかぴか光っている物を見つけた。  
たがいにボールを回し、体を動かしています。

3－2  
友達の発表は、メモをとりながら聞きましょう。  
いっしょにおくのキッチンへ行った。  
銀行のうらに、おいしいたいやきの店があります。

3－3  
元気そうな男の子の声が近づいてきました。  
家の前のさくらの葉がかがやいています。  
お父さんが、深いため息をついて言いました。

3－4  
食べ物を一口，口の中に入れてみましょう。  
ワイシャツのそでを，うでまでたくし上げていました。  
きずは意外に浅く，すぐに治った。

3－5  
家に着くと，ママがリビングにいた。  
これは、わたしに起こったほんとの話なんだ。  
学校生活に必要な委員会を考える。

＜4文＞  
4－1  
外国のなぞなぞをいくつかしょうかいしましょう  
クリスマスにもらった新しいブーツをはいた。  
朝の会のお知らせを，家の人に伝える。  
学習発表会での，敬老席のかざりつけを考える。

4－2  
出来事を事件のように書く。  
かすかに，夏みかんのにおいが残っています。  
かわいい白いぼうしが，ちょこんと置いてあります。  
コートをつかんで，表へかけ出した。

4－3  
木に登ろうとしている男の子がいます。  
二階には，四年生の教室があります。  
夕ぐれがしずかにおしろをつつむ。  
ぼうしをかぶって，マフラーをまいた。

4－4  
らくだに乗ると楽だ。  
牧場の中に，大きな時計台を建てた。  
人形げきにして低学年の人に見せる。  
塩のびんをこしょうのびんの横にきちんとならべた。

4－5  
だれにも聞かれないように，こっそり話し合った。  
相手が知りたいと思うことは何かを考えましょう。  
虫歯があつては強い力は出せません。  
だえきは1日におよそ1リットルほど出ます。

＜5文＞  
5－1  
新聞の大きさや形，記事の量はどれぐらいにしますか。  
わたしのひみつを，ほかの人に話したりしない。  
教科書に印を付けたり，書き込みをしたりする。  
なんだか古くさいことを言い出しそうな感じだ。  
点字を指先で読み取るのはむずかしい。

5－2  
夏休みには，家族みんなで遊びに行きます。  
山でくりをどっさり拾った。  
食堂が殺風景だと食事が楽しくない。  
スキップをしながら，コスモスのトンネルをくぐった。  
かめばかむほど，骨や筋肉も強くなる。

5－3  
おかっぱのかわいい女の子がすわっています。  
この世でいちばん大切なものは友だちだ。  
本の中では，どんなことだって起こります。  
取材メモをもとに，記事の文章を下書きする。  
雨がふりそうだったので，かさを持って出かけた。

5－4  
聞き手の方を向いて話す。  
祭りの会場には，たくさんの人が集まっている。  
男の子が，池の氷をつついています。  
新聞の形式と内容を調べよう。  
シャボン玉のはじけるような，小さな声でした。

5－5  
文章全体は，いくつかのまとまりからできています。  
絵本は，おさない子どもだけのものとはかぎりません。  
目の前に，長い馬の顔がありました。  
辺りの村へ出てきて，いたずらばかりしました。  
人間がこの世にあらわれる前の地球の詩です。

＜練習＞

練習 1  
テレビでサッカーの試合を放送しています。  
自分たちの学校での様子を知らせる。

練習 2  
お楽しみ会でするゲームを決める。  
自転車と同じ気持ちになったようだった。

＜2文＞  
2－1  
同じ話題に関心のある人どうしでグループを作る。  
となりにいた友達の手をにぎる。

2－2  
キュリー夫人の伝記を愛読している。  
頭に木の実が落ちてきました。

2－3  
かむことは脳の働きと結びついている。  
ダイヤモンドみたいな大きな石を見つけたこともある。

2－4  
ぼくの妹も、保育園で読んでいました。  
ふろに入っている時間が短い。

2－5  
さむらいがこわい顔をして立っていました。  
体育の時間に50メートル走をした。

＜3文＞  
3－1  
クラスの重大ニュースを3つ選ぶ。  
雪の中にぴかぴか光っている物を見つけた。  
たがいにボールを回し、体を動かしています。

3－2  
友達の発表は、メモをとりながら聞きましょう。  
いっしょにおくのキッチンへ行った。  
銀行のうらに、おいしいたいやきの店があります。

3－3  
元気そうな男の子の声が近づいてきました。  
家の前のさくらの葉がかがやいています。  
お父さんが、深いため息をついて言いました。

3－4  
食べ物了一口、口の中に入れてみましょう。  
ワイシャツのそでを、うでまでたくし上げていました。  
きずは意外に浅く、すぐに治った。

3－5  
家に着くと、ママがリビングにいた。  
これは、わたしに起こったほんとの話なんだ。  
学校生活に必要な委員会を考える。

＜4文＞  
4－1  
外国のなぞなぞをいくつかしょうかいしましょう  
クリスマスにもらった新しいブーツをはいた。  
朝の会のお知らせを、家の人に伝える。  
学習発表会での、敬老席のかざりつけを考える。

4－2  
出来事を事件のように書く。  
かすかに、夏みかんのにおいが残っています。  
かわいい白いぼうしが、ちょこんと置いてあります。  
コートをつかんで、表へかけ出した。

4－3  
木に登ろうとしている男の子がいます。  
二階には、四年生の教室があります。  
夕ぐれがしずかにおしろをつつむ。  
ぼうしをかぶって、マフラーをまいた。

4－4  
らくだに乗ると楽だ。  
牧場の中に、大きな時計台を建てた。  
人形げきにして低学年の人に見せる。  
塩のびんをこしょうのびんの横にきちんとならべた。

4－5  
だれにも聞かれないように、こっそり話し合った。  
相手が知りたいと思うことは何かを考えましょう。  
虫歯があつては強い力はいせません。  
だえきは1日におよそ1リットルほど出ます。

＜5文＞  
5－1  
新聞の大きさや形、記事の量はどれぐらいにしますか。  
わたしのひみつを、ほかの人に話したりしない。  
教科書に印を付けたり、書き込みをしたりする。  
なんだか古くさいことを言い出しそうな感じだ。  
点字を指先で読み取るのはむずかしい。

5－2  
夏休みには、家族みんなで遊びに行きます。  
山でくりをどっさり拾った。  
食堂が殺風景だと食事が楽しくない。  
スキップをしながら、コスモスのトンネルをくぐった。  
かめばかむほど、骨や筋肉も強くなる。

5－3  
おかっぱのかわいい女の子がすわっています。  
この世でいちばん大切なものは友だちだ。  
本の中では、どんなことだって起こります。  
取材メモをもとに、記事の文章を下書きする。  
雨がふりそうだったので、かさを持って出かけた。

5－4  
聞き手の方を向いて話す。  
祭りの会場には、たくさんの人が集まっている。  
男の子が、池の氷をつついています。  
新聞の形式と内容を調べよう。  
シャボン玉のはじけるような、小さな声でした。

5－5  
文章全体は、いくつかのまとまりからできています。  
絵本は、おさない子どもだけのものとはかぎりません。  
目の前に、長い馬の顔がありました。  
辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。  
人間がこの世にあらわれる前の地球の詩です。

＜練習＞

練習 1  
身近な川がよごれている。  
文章を書くと、考えが深まる。

練習 2  
地球の温度が高くなっている。  
二人で愛犬の散歩に行きます。

＜2文＞  
2－1  
生活のしかたが、昔とはずいぶんちがう。  
できるだけ具体的に自分の課題を決める。

2－2  
みんなで、歌を歌ったりゲームをしたりした。  
水辺の生物についての本を出版する。

2－3  
動物の顔の写真集です。  
夏休みをふるさとで過ごす人が多い。

2－4  
言葉に関する研究レポートを書きましょう。  
ゆめ子はこどものころから活発です。

2－5  
色紙にサインをしてもらう。  
旧道ぞいの児童公園の近くに転居した。

＜3文＞  
3－1  
好きな野球選手の写真を集める。  
大阪と韓国の小学五年生が交流している。  
小学生のときは、児童会副会長をつとめた。

3－2  
お社のある森には、動物がたくさんいる。  
ハンカチで目をおさえたりしていた。  
世界でいちばん古い木造建築がある。

3－3  
六月頃にふる雨を梅雨という。  
低学年の子が一人、ひどく泣いています。  
いがいと説明はむずかしいものです。

3－4  
このりんごは、一個百円で買った。  
風車小屋がある美しい景色をえがく。  
ずっとポケットの中に手を入れていた。

3－5  
笑いすぎて涙をこぼすことがある。  
眼科は、交差点を右折したところにある。  
こたつに当たりながら、本を読んでいた。

＜4文＞  
4－1  
学校は五年生でクラスがえがある。  
じょうぶで長もちするように作る。  
今まで知らなかった事実と出会う。  
実験に必要な電池の数を数える。

4－2  
雪がサラサラと雨戸に当たります。  
古い寺院のそばに、銅像が建った。  
その子どもたちのくらしぶりを研究しています。  
白いほおが夕焼けのように赤くなりました。

4－3  
毎日多くの出来事が起こっている。  
富士山の周囲には湖や温泉がたくさんある。  
手話や点字について学習することは意義がある。  
一日に一人平均 1キログラムのごみを出す。

4－4  
二十世紀の歴史について書かれた本を読んだ。  
お母さんが台所で夕ご飯の後かたづけをしている。  
わたしは右手をふって、さよならをした。  
天気がいい日に、先生とサッカーをした。

4－5  
血液中の成分について調べる。  
黄色いクロッカスのはち植えを持った。  
天気予報らんに短い文章がのっている。  
朝市へ野菜を売りに出かけました。

＜5文＞  
5－1  
その中でくらす豊かさが感じられます。  
両方の選手たちが涙を腕でこすった。  
インターネットで大勢の人に伝える。  
許可を得て、河口の近くでつりをする。  
岩のすき間に清水がわいている。

5－2  
この八百屋は元日から営業している。  
サクラソウは、他の花より少し早くさきます。  
婦人服売り場で、弟が迷子になった。  
いやなことがあったらすぐなくぞ。  
昔のくらしについて祖母にたずねた。

5－3  
友達と近くのおかでスキーをしていました。  
一生けんめいまりちゃんに手紙を書いた。  
高速道路は相当な混雑が予想されます。  
雨に関係のある言葉がほかにも出ていた。  
昨日は、博物館まで歩きました。

5－4  
二人の友情は永久に変わらない。  
住民の間にあまり危機感がありませんでした。  
ガラス製の食器は破損しやすい。  
友人と遊園地に行くときちゅう、道に迷った。  
この地いきの伝統工業は和紙作りだ。

5－5  
名前が書いてあれば持ち主がわかります。  
合唱コンクールのために、もっと練習する。  
一流の職人たちが日本じゅうから総動員された。  
社会科の学習で鉄鋼について調べた。  
確実に木をつなぐ役目を果たすことになる。

＜練習＞

練習 1  
身近な川がよごれている。  
文章を書くと、考えが深まる。

練習 2  
地球の温度が高くなっている。  
二人で愛犬の散歩に行きます。

＜2文＞  
2－1  
生活のしかたが、昔とはずいぶんちがう。  
できるだけ具体的に自分の課題を決める。

2－2  
みんなで、歌を歌ったりゲームをしたりした。  
水辺の生物についての本を出版する。

2－3  
動物の顔の写真集です。  
夏休みをふるさとで過ごす人が多い。

2－4  
言葉に関する研究レポートを書きましょう。  
ゆめ子はこどものころから活発です。

2－5  
色紙にサインをしてもらう。  
旧道ぞいの児童公園の近くに転居した。

＜3文＞  
3－1  
好きな野球選手の写真を集める。  
大阪と韓国の小学五年生が交流している。  
小学生のときは、児童会副会長をつとめた。

3－2  
お社のある森には、動物がたくさんいる。  
ハンカチで目をおさえたりしていた。  
世界でいちばん古い木造建築がある。

3－3  
六月頃にふる雨を梅雨という。  
低学年の子が一人、ひどく泣いています。  
いがいと説明はむずかしいものです。

3－4  
このりんごは、一個百円で買った。  
風車小屋がある美しい景色をえがく。  
ずっとポケットの中に手を入れていた。

3－5  
笑いすぎて涙をこぼすことがある。  
眼科は、交差点を右折したところにある。  
こたつに当たりながら、本を読んでいた。

＜4文＞  
4－1  
学校は五年生でクラスがえがある。  
じょうぶで長もちするように作る。  
今まで知らなかった事実と出会う。  
実験に必要な電池の数を数える。

4－2  
雪がサラサラと雨戸に当たります。  
古い寺院のそばに、銅像が建った。  
その子どもたちのくらしぶりを研究しています。  
白いほおが夕焼けのように赤くなりました。

4－3  
毎日多くの出来事が起こっている。  
富士山の周囲には湖や温泉がたくさんある。  
手話や点字について学習することは意義がある。  
一日に一人 平均 1 キログラムのごみを出す。

4－4  
二十世紀の歴史について書かれた本を読んだ。  
お母さんが台所で夕ご飯の後かたづけをしている。  
わたしは右手をふって、さよならをした。  
天気がいい日に、先生とサッカーをした。

4－5  
血液中の成分について調べる。  
黄色いクロッカスのはち植えを持った。  
岩のすき間に清水がわいている。  
朝市へ野菜を売りに出かけました。

＜5文＞  
5－1  
その中でくらす豊かさが感じられます。  
両方の選手たちが涙を腕でこすった。  
天気予報らんに短い文章がのっている。  
インターネットで大勢の人に伝える。  
許可を得て、河口の近くでつりをする。

5－2  
この八百屋は元日から営業している。  
サクラソウは、他の花より少し早くさきます。  
婦人服売り場で、弟が迷子になった。  
いやなことがあつたらすぐなくぞ。  
昔のくらしについて祖母にたずねた。

5－3  
友達と近くのおかでスキーをしていました。  
一生けんめいまりちゃんに手紙を書いた。  
高速道路は相当な混雑が予想されます。  
雨に係のある言葉がほかにも出ていた。  
昨日は、博物館まで歩きました。

5－4  
二人の友情は永久に変わらない。  
住民の間にあまり危機感がありませんでした。  
ガラス製の食器は破損しやすい。  
友人と遊園地に行くとちゅう、道に迷った。  
この地いきの伝統工業は和紙作りだ。

5－5  
名前が書いてあれば持ち主がわかります。  
合唱コンクールのために、もっと練習する。  
一流の職人たちが日本じゅうから総動員された。  
社会科の学習で鉄鋼について調べた。  
確実に木をつなぐ役目を果たすことになる。

＜練習＞

練習 1  
校舎を背景に写真を写す。  
スポーツは健全な精神を育てる。

練習 2  
生き物たちにふれたのも貴重な体験だった。  
漢字は、一字一字が意味を表します。

＜2文＞  
2－1  
各自思い思いに絵を描いた。  
今にもクマがやって来そうな気がした。

2－2  
壮大な音楽を聞いているような気分になった。  
ホームページを作成し、情報を発信する。

2－3  
暗い冬の山道を下りてきました。  
みんな元気でやさしい子どもたちだった。

2－4  
小さいころからずっとピアノを習っていた。  
空を真っ赤に染めて太陽がしずもうとしている

2－5  
外国やいろんな人や文化にふれる機会がある。  
本と出会うきっかけはいろいろあります。

＜3文＞  
3－1  
係の人の指示に従う。  
戦争は人の心の中で生まれるものである。  
産卵のために川を上るサケの大群だった。

3－2  
父は、夕方になっても帰らなかった。  
ぼくは、赤んぼうのころ笑わない子だったらしい。  
ずっと昔、ここは、厚い氷におおわれていました。

3－3  
小学校に入る頃、少年チームで野球をやった。  
あらしさえもはね返す屈強な若者になっていたのだ。  
父の誕生日に絹のネクタイをおくります。

3－4  
書いたものを集めて、一冊の本にまとめましょう。  
竹林の中を風がすうっとふき過ぎていった。  
どろんこになって農作業をしたり遊んだりするやんちゃな子だった。

3－5  
ぼくは、はだしになって川に入りました。  
あるところに貧しいねこの親子がいた。  
知らないうちに手先が冷たくなっていることがある。

＜4文＞  
4－1  
放課後は家に帰って毎日働く。  
地面も岩も、びっしりと緑のコケにおおわれている。  
待ち合わせ時間の三十分後に着いた。  
「竹取物語」は、平安時代にできたお話です。

4－2  
水玉模様のかさにさそわれて迷い込んだ。  
食卓には、目玉焼きと野菜のためのお皿が出ていた。  
魚がえらを動かすたび、水が動くのが分かった。  
みなさんは、看護師の仕事を知っていますか。

4－3  
外国語を学ぶ大切さを切実に思う。  
じゃがいもとにんじんの切り方はでたらめだ。  
装備をしっかりとととのえて山頂を目指す。  
生活の中には、さまざまなおどろきがあります。

4－4  
毎日食べるものが体を作っていく。  
元の文章の内容を短くまとめることを要約という。  
言葉は、人の心と心を結ぶ橋のようなものです。  
父を最後にもぐり漁師がいなくなった。

4－5  
この建物は多くの市民に親しまれていた。  
博物館・美術館などの施設をしょうかいする。  
一つの石を投げて二羽の鳥を落とす。  
朝の海は、深いきりに包まれていました。

＜5文＞  
5－1  
自分の見たことや調べたことを生かす。  
庭の木々が、シャボン玉の表に映る。  
お母さんは仕事がいそがしくて、帰りがおそくなる。  
熱心に取り組めば、自然と上手になる。  
お城と自宅を、徒歩で往復した。

5－2  
言葉に表現して人に伝えることは難しい。  
水を飲もうと水面に顔を近づけた。  
生き方について考えるヒントをあたえてくれた。  
英語の歌やゲームを楽しむ時間がある。  
風の様子は、確かに秋のものだ。

5－3  
夕食が終わった後、ゲームをしていた。  
毛布をのどまでかけてねむっていた。  
ロボットのイヌは本物のイヌとはちがいます。  
できるだけ多くの人が使えるものを作る。  
地球上の生命の始まりにまでさかのぼる。

5－4  
その中のだれかに自分を重ね合わせている。  
思い出に残る学習の記録を作る。  
肉は、主としてタンパク質からできています。  
お父さんが夕食に合わせて早めに帰ってくる。  
ランドセルの下に手紙が置いてあった。

5－5  
班ごとに、それぞれ代表を決めようよ。  
空気中の酸素を体に取り入れる。  
口を大きく開けてカレーをほお張った。  
時代や社会の変化につれて合わなくなったものもあります。  
行ったときに書いたメモを読み直す。

＜練習＞  
練習 1  
校舎を背景に写真を写す。  
生き物たちにふれたのも貴重な体験だった。

練習 2  
漢字は、一字一字が意味を表します。  
スポーツは健全な精神を育てる。

＜2文＞  
2－1  
みんな元気でやさしい子どもたちだった。  
今にもクマがやって来そうな気がした。

2－2  
壮大な音楽を聞いているような気分になった。  
ホームページを作成し、情報を発信する。

2－3  
暗い冬の山道を下りてきました。  
各自思い思いに絵を描いた。

2－4  
小さいころからずっとピアノを習っていた。  
空を真っ赤に染めて太陽がしずもうとしている。

2－5  
外国やいろんな人や文化にふれる機会がある。  
本と出会うきっかけはいろいろあります。

＜3文＞  
3－1  
係の人の指示に従う。  
戦争は人の心の中で生まれるものである。  
産卵のために川を上るサケの大群だった。

3－2  
父は、夕方になっても帰らなかった。  
ぼくは、赤んぼうのころ笑わない子だったらしい。  
ずっと昔，ここは、厚い氷におおわれていました。

3－3  
小学校に入る頃，少年チームで野球をやった。  
あらしさえもはね返す屈強な若者になっていたのだ。  
父の誕生日に絹のネクタイをおくります。

3－4  
書いたものを集めて，一冊の本にまとめましょう。  
竹林の中を風がすうっとふき過ぎていった。  
どろんこになって農作業をしたり遊んだりするやんちゃな子だった。

3－5  
ぼくは，はだしになって川に入りました。  
あるところに貧しいねこの親子がいた。  
知らないうちに手先が冷たくなっていることがある。

＜4文＞  
4－1  
放課後は家に帰って毎日働く。  
地面も岩も，びっしりと緑のコケにおおわれている。  
待ち合わせ時間の三十分後に着いた。  
「竹取物語」は，平安時代にできたお話です。

4－2  
水玉模様のかさにさそわれて迷い込んだ。  
食卓には，目玉焼きと野菜いためのお皿が出ていた。  
魚がえらを動かすたび，水が動くのが分かった。  
みなさんは，看護師の仕事を知っていますか。

4－3  
この建物は多くの市民に親しまれていた。  
じゃがいもとにんじんの切り方はでたらめだ。  
装備をしっかりとととのえて山頂を目指す。  
生活の中には，さまざまなおどろきがあります。

4－4  
毎日食べるものが体を作っていく。  
元の文章の内容を短くまとめることを要約という。  
言葉は，人の心と心を結ぶ橋のようなものです。  
父を最後にもぐり漁師がいなくなった。

4－5  
博物館・美術館などの施設をしょうかいする。  
外国語を学ぶ大切さを切実に思う。  
一つの石を投げて二羽の鳥を落とす。  
朝の海は，深いきりに包まれていました。

＜5文＞  
5－1  
自分の見たことや調べたことを生かす。  
庭の木々が，シャボン玉の表に映る。  
お母さんは仕事がいそがしくて，帰りがおそくなる。  
熱心に取り組めば，自然と上手になる。  
お城と自宅を，徒歩で往復した。

5－2  
言葉に表現して人に伝えることは難しい。  
水を飲もうと水面に顔を近づけた。  
生き方について考えるヒントをあたえてくれた。  
英語の歌やゲームを楽しむ時間がある。  
風の様子は，確かに秋のものだ。

5－3  
夕食が終わった後，ゲームをしていた。  
毛布をのどまでかけてねむっていた。  
ロボットのイヌは本物のイヌとはちがいます。  
できるだけ多くの人が使えるものを作る。  
地球上の生命の始まりにまでさかのぼる。

5－4  
その中のだれかに自分を重ね合わせている。  
思い出に残る学習の記録を作る。  
肉は，主としてタンパク質からできています。  
お父さんが夕食に合わせて早めに帰ってくる。  
ランドセルの下に手紙が置いてあった。

5－5  
班ごとに，それぞれ代表を決めようよ。  
空気中の酸素を体に取り入れる。  
口を大きく開けてカレーをほお張った。  
時代や社会の変化につれて合わなくなったものもあります。  
行ったときに書いたメモを読み直す。

資 料

## 2. 本実験の記録用紙

1年 組 番・名前

生年月日	年	月	日
検査日	年	月	日
年齢	年	月	

〈練習〉

練習1  
そらに、にじが でした。

練習2  
さるは、いそいで かくれた。

練習3  
わたしは、おとうとを むかえに いった。  
あなは、ふかくて、まっくら です。

練習4  
となりの 犬が、とびこんで きた。  
さいごまで 力いっぱい はしった。

〈2文〉  
2－1  
大きな くしゃみが きこえてきた。  
むこうで、ともだちが 手を ふっています。

2－2  
おじいさんが、かぶのたねを まきました。  
いもうとは、おりがみを おります。

2－3  
おすすめの はなしを しょうかいする。  
しばらくすると、花が さきます。

2－4  
きつねさんは、にもつを もっています。  
おばあさんは、さんぽに 出かけます。

2－5  
じどう車が、どうろを はして います。  
のらねこが、のっそり 入ってきた。

〈3文〉  
3－1  
みんなは、うれしそうに 花を みた。  
おじいさんは、こうえんで 休んだ。  
おかあさんに おつかいを たのまれた。

3－2  
ぼくは、生きた かにを 見ました。  
うさぎさんが いすを つくりました。  
わたしは、あさ おきて かおを あらった。

3－3  
ぼくは、とても しんぱい した。  
竹やぶに 雨が ふりました。  
ふねは、うみに うかんでいる。

3－4  
みんなは、しっかり はなしを きいた。  
ぼくは、どてに むしとりに いった。  
おかあさんが じてんしゃを かった。

3－5  
ぼくは、かん字を かくのが すきです。  
うちの にわで きゅうりが とれた。  
わたしは、うたが とくい です。

〈4文〉  
4－1  
おじいさんは、おみやげを もらった。  
花だんに 草が たくさん 生えました。  
やさしい 気持ちは ふわふわ してる。  
おじいさんは りっぱな かさを もった。

4－2  
にいさんが、ねこに えさを やりました。  
雨が おけに あたって 音が する。  
たねが 5こ ふくろの 中に入っていた。  
たにを はさんで、たかい 山が みえる。

4－3  
田んぼに、たくさんの すずめが いる。  
わたしは、かけっこの せんしゅです。  
せんせいが ごうれいを かける。  
かみなりは たいこを ならした。

4－4  
もりの なかに、いえが あります。  
てんとう虫が 十びき あつまっている。  
みずうみに 白ちょうが とんできます。  
せんせいが うでどけいを みた。

4－5  
つるの 足は、ほそくて ながい。  
ちょうが、はなの みつを すいます。  
わたしは、おとうさんと プールに いった。  
二人は、大きな こえで うたった。

スパン得点		所要時間
方略	1. リハーサル	エラー 1. 忘却
	2. イメージ化	
	3. 物語	
	4. 文字の形態	
	5. 頭文字	
	6. 関連づけ	
	7. その他	
	8. 方略なし	
		8. 侵入

2年 組 番・名前

生年月日	年	月	日
検査日	年	月	日
年齢	年	月	

〈練習〉

練習 1  
わたしは、かめを かっています。

練習 2  
花は、すっかり くれました。

練習 3  
まっかな 花が さいていた。  
朝まで ぐっすり ねむりました。

練習 4  
こうえんに 大きな 木が ある。  
馬は、とぶように かけます。

〈2文〉  
2－1  
お寺の かいだんを のぼる。  
となりに 女の子が ひっこしてきた。

2－2  
お母さんが ケーキを つくった。  
わたしたちは、パン工場を 見学した。

2－3  
王さまは、とても 早おきです。  
からすが 貝を くわえて とびたった。

2－4  
大きな 音を たてて 花火が 上がる。  
心に のこった できごとを 思い出した。

2－5  
わた毛は、風に ふきとばされます。  
田んぼに、すずめが たくさん いる。

〈3文〉  
3－1  
女子と 男子と いっしょに マラソンをした。  
わたしは、ほたるの 本を よみました。  
文集の 名前を かんがえましょう。

3－2  
ぼくは、まめで おにを おいはらう。  
妹は、だんだん 元気を とりもどした。  
このさむさで、小川は こおった。

3－3  
むこうの 空は、まっかな 夕やけです。  
山は、ふかい 雪に つつまれました。  
こえに 出して、よみましょう。

3－4  
文の おわりまで しっかり よみましょう。  
おばあちゃんは、おさんぽが すきです。  
かくれんぼは、ほかの 国にも ある。

3－5  
さかを 下ると、小学校が ある。  
わたしは、どんぐりを ひろった。  
ぼくは、きのう サッカーの しあいに 出た。

〈4文〉  
4－1  
寺の かねの 音が きこえる。  
親鳥は、かわるがわる そとへ 出かける。  
お父さんは、手紙を 5通 出しました。  
きゆうに つよい 風が ふいてきました。

4－2  
大きな さくらの 木が 立っている。  
ぼくは、きょうのたのしい話をした。  
ふでばこに えんぴつが 3本 入っている。  
黄色い きれいな 花が さきます。

4－3  
わたしは、小さい うさぎを だいた。  
おじいさんは、青い 空を 見上げた。  
きつねの 子が、ひるねを していた。  
お姉さんは、絵の べんきょうを した。

4－4  
ぼくは、大いそぎで 家へ 帰った。  
この おかしは、四百円です。  
おばあちゃんは、花だんの 草とりを する。  
わたしは、赤い ぼうしを もらった。

4－5  
朝から 雨が ふりました。  
はかせが、たからを かくしました。  
わたしは、プールに 毎しゅう 通う。  
とつぜん、大きな とらが あらわれた。

スパン得点		所要時間
方略	1. リハーサル	エラー 1. 忘却 2. 非ターゲット語 3. 意味性関連語 4. 音韻類似語 5. 文表出 6. 不完全語 7. 誤り語
	2. イメージ化	
	3. 物語	
	4. 文字の形態	
	5. 頭文字	
	6. 関連づけ	
	7. その他	
	8. 方略なし	
		8. 侵入

3年 組 番・名前

生年月日	年	月	日
検査日	年	月	日
年齢	年	月	

〈練習〉  
練習 1  
広場には、犬をつれた女の子がいます。

練習 2  
みんなは、いっせいに下を見ました。

練習 3  
わたしは、おじいちゃんに手紙を書きました。  
姉は、明るいせいかくです。

練習 4  
ラッコは、アワビなどの貝が大好きです。  
庭の花が、きれいにさいた。

〈2文〉  
2－1  
米をこなにして作る食品があります。  
きょうりゅうの子どもがやってきた。

2－2  
お母さんは、大きいケーキを作った。  
お客様に、二階の部屋を見せる。

2－3  
お父さんは、ねこをかうことに反対した。  
ぶなの森に、雨がふりはじめます。

2－4  
後ろのまどから明るい光線がさしこむ。  
おじいさんは、お店を開く用意を始めた。

2－5  
手話は、耳で聞く音声の代わりをする。  
雪は、地上をすっかりおおいました。

〈3文〉  
3－1  
ぼくのうちに、もうすぐ赤ちゃんが生まれる。  
この冬は氷点下の気温の日が多かった。  
母は毎日、日記を書いています。

3－2  
小さい石が、坂をころころと転がった。  
わたしは今、子犬の世話をしています。  
そのうわさは、あつという間に広まった。

3－3  
おばあさんはつきっきりで看病しました。  
さくの外から手をのばしました。  
赤組は、かけっこのとく意な人が多い。

3－4  
おじいさんが、のんびりと公園をさん歩する。  
家族で寺院めぐりの旅行に行った。  
とんぼは、とても古くから地球にすんでいる。

3－5  
明日、おじが九州から上京します。  
ささごとゆで食べるのが、えだまめです。  
音には、いろいろな合図がある。

〈4文〉  
4－1  
頭上には晴天の青空が広がっている。  
ねこは、ぶらぶら居間に入っていた。  
先生や係の人に相談してもいいですね。  
山小屋で、さわやかな朝をむかえた。

4－2  
小さなたいが海の中を泳いでいました。  
かわいい子馬の頭をなでています。  
ここに、3まいの写真がならんでいます。  
この森の向こうに、広大な台地がある。

4－3  
ばあさまにもらったずきんをかぶった。  
父の会社では、新しい家を作っている。  
ぎもんに思ったことを発表しましょう。  
自分の名前を大きな声で言いました。

4－4  
木のでっぺん近くのみきに止まりました。  
スケートで三回転ジャンプをする。  
もう夕ごはんのしたくができていました。  
友だちが保健室につれていってくれた。

4－5  
強い風が、重たい雪をつれてきた。  
うぐいす色のに豆が、湯気をたてている。  
ぼくらのチームが先取点を取りました。  
わたしは、美しいけしきを絵にかいた。

スパン得点		所要時間	
点		分	秒
方略	1. リハーサル	エラー	
	2. イメージ化		
	3. 物語		
	4. 文字の形態		
	5. 頭文字		
	6. 関連づけ		
	7. その他		
	8. 方略なし		
		7. 誤り語	8. 侵入

4年 組 番・名前

生年月日	年	月	日
検査日	年	月	日
年齢	年	月	

〈練習〉  
練習 1  
約束したのに、友だちが来なかった。  
かんきょうにやさしい交通機関を考えた。

練習 2  
庭のすみにさいている花は梅です。  
勝負の行くえは最後まで分らない。

〈2文〉  
2－1  
ひなは巣から太空へと飛び立った。  
それは他人に対して言うてはいけない。

2－2  
お父さんが、深いため息をついて言いました。  
世界じゅうで温暖化が進んでいる。

2－3  
人の心を引き付けるように工夫された。  
もっといろいろな本を読んでみたい。

2－4  
オーケストラの楽器はたくさんある。  
出来事を事件のように書く。

2－5  
写真が大きく出ているとわかりやすい。  
山でくりをどっさり拾った。

〈3文〉  
3－1  
家の前のさくらの葉がかがやいています。  
伝統的な日本の文化にもとづく。  
子犬はすくすく健康に育っている。

3－2  
天候がよくなったので漁船が出航した。  
ふろに入っている時間が短い。  
外国のなぞなぞをいくつかしようかいする。

3－3  
明日の試合には勝つ自信がある。  
岸に上がると強い風がふいてきた。  
電話をして、取材のやくそくをする。

3－4  
だれにも聞かれないように、こっそり話し合った。  
実験には、たくさんのちょうがが必要です。  
人間がこの世にあらわれる前の地球の詩です。

3－5  
できるだけ多くの人に意見を求める。  
キャンプに行き、カレーを作った。  
初めと終わりにあいさつの言葉を書く。

〈4文〉  
4－1  
花がさいていなくても、植物は美しい。  
部屋の目的に合わせた家具を置く。  
それぞれ集まって練習を始めました。  
昨日、町で意外な人を見つけた。

4－2  
昔からウミガメを大切にしてきました。  
これは、わたしに起こったほんとの話だ。  
だえきは1日におよそ1リットルほど出ます。  
シャボン玉のはじけるような、小さな声でした。

4－3  
生まれたばかりの子ネコが鳴いていた。  
わたしは借りていた自転車<sub>を</sub>返した。  
このスーパはおいしいし、栄養もある。  
いろいろな場所に移動することができる。

4－4  
夕ぐれがしずかにおしろをつつむ。  
クラスの重大ニュースを3つ選ぶ。  
たがいにボールを回し、体を動かしています。  
牧場の中に、大きな時計台を建てた。

4－5  
男の子が、池の氷をつついています。  
テーブルを囲んで家族で食事をした。  
あの選手はサッカーの神様と言われる。  
まどの風りんはチリンとも鳴らない。

方略

1. リハーサル
2. イメージ化
3. 物語
4. 文字の形態
5. 頭文字
6. 関連づけ
7. その他
8. 方略なし

〈5文〉  
5－1  
おかつぱのかわいい女の子がすわっています。  
雨がふりそうだったので、かさを持った。  
新聞の形式と内容を調べよう。  
体育の時間に50メートル走をした。  
かめばかむほど、骨や筋肉も強くなる。

5－2  
友だちの住んでいる家を初めてたずねた。  
祭りの会場には、たくさんの人が集まった。  
今夜の月は、赤みを帯びています。  
横断歩道で車が急に止まった。  
キュリー夫人の伝記を愛読している。

5－3  
文章全体は、いくつかのまとまりからできている。  
学校生活に必要な委員会を考える。  
目の前に、長い馬の顔がありました。  
やり方を変えたら、手間がはぶけた。  
昔はここに住み、幸福にくらしていた。

5－4  
日本の科学者が静かに堂々と立った。  
山の写真を見て、むねを打たれた。  
お年寄りに席をゆずろうかとまよった。  
小屋を開けると、中は暗かった。  
ぼくは、となりの町の博物館に行った。

5－5  
雪の中にぴかぴか光っている物を見つけた。  
木に登ろうとしている男の子がいます。  
クリスマスにもらった新しいブーツをはいた。  
急いで走ったので、息が苦しい。  
兄が英語の本を一生けんめい読む。

スパン得点	所要時間
点	分 秒
エラー	1. 忘却 2. 非ターゲット語 3. 意味性関連語 4. 音韻類似語 5. 文表出 6. 不完全語 7. 誤り語
	8. 侵入

5年 組 番・名前

生年月日	年	月	日
検査日	年	月	日
年齢	年	月	

〈練習〉  
練習1  
昔のくらしについて祖母にたずねた。  
いがいと説明はむずかしいものです。

練習2  
お社のある森には、動物がたくさんいる。  
おじいちゃんは毎日のように、散歩を楽しんだ。

〈2文〉  
2－1  
木の家に住み、木の道具を使ってくらしした。  
信らいのできる人間が、自分のそばにいる。

2－2  
女性が家事や炊事に追われていた。  
町の少年野球の練習がそろそろ始まる。

2－3  
海があれいているので、漁に出るのは危険だ。  
身の回りには、多くの紙が使われている。

2－4  
古い寺院のそばに、銅像が建った。  
毎日多くの出来事が起こっている。

2－5  
眼科は、交差点を右折したところにある。  
自動車は、タイヤをきしませて走っていく。

〈3文〉  
3－1  
季節を題材にした詩は、たくさんあります。  
新しい校舎の建築は、少しも進んでいない。  
父のように勇気を出して行動していきたい。

3－2  
旧道沿いの児童公園の近くに転居した。  
天気予報らんに短い文章がのっている。  
たいていの病気やけがは、いつか治る。

3－3  
共通語は、どこでもだれにでも通じる言葉だ。  
まさか、今日は雪はふらないでしょう。  
森林が絶えず土と養分をおぎなってくれた。

3－4  
日本にはいたる所、すぐれた木材があった。  
地区大会でゆう勝するという目標ができた。  
道が分からないので、地図を見てみる。

3－5  
方言には、共通語にないよさがあります。  
すぐに八百屋さんへたまねぎを買いに行った。  
どちらが良いか、なかなか判断できません。

〈4文〉  
4－1  
朝市へ野菜を売りに出かけました。  
切り株からでた芽も大切に育ててきた。  
手紙のよい点について意見をのべる。  
多くの種類の中から好きなものを選ぶ。

4－2  
このりんごは、一個百円で買った。  
物語を味わうには、テレビより本がいい。  
初回の1点を守って初勝利をあげた。  
河口から、流れに逆らって川を上ります。

4－3  
ほこり高いライオンにしのび寄った。  
地いきで昔話を研究している方にたずねる。  
毎朝、飼育小屋によるのが習慣です。  
貿易がさかんになると、利益が上がる。

4－4  
1日に1人平均1キログラムのごみを出す。  
ポスターをかいて、町内会の掲示板にはる。  
広場には、黄色いスイセンの花がさいていた。  
昨日は、博物館まで歩きました。

4－5  
主食には米を欠かすことができない。  
婦人服売り場で、弟が迷子になった。  
友達と近くのおかでスキーをしていました。  
二人の友情は永久に変わらない。

方略

1. リハーサル	
2. イメージ化	
3. 物語	
4. 文字の形態	
5. 頭文字	
6. 関連づけ	
7. その他	
8. 方略なし	

〈5文〉  
5－1  
田中さんが、弟の写真をとってくれた。  
たんぼを使った料理をしてくれた。  
今まで知らなかった事実と会う。  
父の1日の労働時間は8時間です。  
店員に、商品の見本を見せてもらう。

5－2  
ぼくの家族は山登りが大好きです。  
山くずれや水害から平野を守ってくれる。  
草原をわたる風のささやきしか聞こえない。  
川石をたどれば、簡単に向こう岸にわたれる。  
風車小屋のある美しい風景をえがく。

5－3  
不器用なので細かい仕事は苦手です。  
水辺の生き物についての本を出版する。  
わにの革のりっぱなハンドバックをかざる。  
この少年は、ものごとを理づめで考える。  
少し複雑な表現を取り上げてみる。

5－4  
秋の日は、美しくかがやいていました。  
借家から一戸建ての持ち家に引っこす。  
その心はいつも愛に満ちていた。  
薬の副作用で、ご飯が食べられない。  
小学校のときは、児童会書記をつとめた。

5－5  
血液中の成分について調べる。  
最近、日本語を学ぶ外国人が多くなった。  
台風のため、学校がりんじに休みになった。  
両方の選手たちが涙を腕でこすった。  
友達と遊園地に行くとちゅう、道に迷った。

スパン得点		所要時間	
点		分	秒
エラー	1. 忘却		
	2. 非ターゲット語		
	3. 意味性関連語		
	4. 音韻類似語		
	5. 文表出		
	6. 不完全語		
	7. 誤り語		
		8. 侵入	

6年 組 番・名前

生年月日	年	月	日
検査日	年	月	日
年齢	年	月	

〈練習〉  
練習 1  
クラスの友達にアンケートをとった。  
妹は口紅でいたずらをしたので、しかられた。

練習 2  
人間に忠実な動物は、犬ばかりではない。  
歩き慣れた山道を、ぼんやり歩いていました。

〈2文〉  
2－1  
その材料はほとんど外国から輸入されている。  
ふとわたしは赤んぼうの声を聞きました。

2－2  
父親が新聞を手にして帰ってきました。  
温暖化がほかの環境問題をさらにひどくする。

2－3  
教育を受ける権利は、憲法で保障されている。  
コンクリートのかべを通して音が聞こえる。

2－4  
真っ青な空に、お城の天守閣の屋根がはえる。  
昔から大まじめに議論されてきた問題だった。

2－5  
火星は、地球に最もよく似た惑星である。  
暴れる馬を静めるのは容易ではない。

〈3文〉  
3－1  
この世にたくさんのすばらしい友人がいる。  
初雪が降った山頂が、白く光っている。  
二人で夢中になって話をしてもりあがった。

3－2  
音楽への情熱を持ち続けたことに感動した。  
大事なことは、相手の立場を思いやることだ。  
倉庫にかぎをかけて、製品を保管する。

3－3  
毎朝、雑木林を散歩するのが習慣です。  
テントでねていると、外の風が強くなってきた。  
郷土の民話を調べて語ることになった。

3－4  
4時間くらいして、ようやく風が弱くなった。  
日本にも多くの民族が混在してきた。  
何十日もかけて、ついに作品が完成した。

3－5  
今度の日曜日に友達と遊園地へ行く。  
素焼きのうつわにうわぐすりをかける。  
これでやっと自分たちの仕事は終わった。

〈4文〉  
4－1  
相手の言葉を知らなければ、話は通じない。  
野の風がおだやかにふく日のできごとだった。  
ある事実をもとに筋道を立てて考える。  
子どもを囲んだ家庭の温かさが感じられる。

4－2  
海の音や潮のかおりがただよってくる。  
目をぎゅっとつぶって、必死に頭を洗った。  
わたしは、今年の4月に千葉に引っこしてきた。  
道をゆずられて気持ちよく感じました。

4－3  
あるところに貧しいねこの親子がいた。  
魚の大群が流れに逆らって泳いでいる。  
共同で人間型ロボットの開発を進めてきた。  
思い出に残る出来事を詩や俳句にして書く。

4－4  
台風が近づいているので、けいかいが必要だ。  
地球では何回も戦争が起こっています。  
氷山をこえて、ペンギンの様子を見に行った。  
母は昨日、小学校の同窓会に出かけました。

4－5  
父の誕生日に絹のネクタイをおくります。  
草のにおいがむっと立ちこめる山道である。  
宇宙からのすてきなメッセージにこたえる。  
友達と分かり合うことの難しさを感じ始めた。

方略	1. リハーサル 2. イメージ化 3. 物語 4. 文字の形態 5. 頭文字 6. 関連づけ 7. その他	8. 方略なし
----	--	---------

〈5文〉  
5－1  
まず、農地にするために森林が切り開かれた。  
異文化交流のための3冊の絵本がある。  
表情のおもしろさにたいへん興味をもった。  
わたしは、待ち合わせ時間の30分後に着いた。  
ききょうの花畑は、どこまでも続いていた。

5－2  
みんなに伝えたいことを選んで話す。  
朝の海は、深いきりに包まれていました。  
一つの石を投げて、二羽の鳥を落とす。  
時代とともに新しい言葉は次々に生まれる。  
壮大な音楽を聞いているような気分になった。

5－3  
言葉に表現して人に伝えることは難しい。  
英語の歌やゲームを楽しむ時間がある。  
内閣の下した決定が、各省庁に送られた。  
父親が、赤ちゃんの口の中をのぞきこむ。  
班ごとに、それぞれの代表を決めようよ。

5－4  
彼は車について豊富な知識を持っている。  
国連が仲立ちして、争いは収まりました。  
窓からの風が、作文用紙をひらりとめくった。  
友達が、公園の前を自転車で通った。  
ふるさとの町は、小さな城下町であった。

5－5  
ホームページを作成し、情報を発信する。  
キャンプファイヤーの実行委員を引き受けた。  
口を大きく開けてカレーをほお張った。  
馬は、水を飲もうと水面に顔を近づけた。  
日本人の平均じゅ命は高くなっています。

スパン得点		所要時間	
点		分	秒
エラー	1. 忘却 2. 非ターゲット語 3. 意味性関連語 4. 音韻類似語 5. 文表出 6. 不完全語 7. 誤り語	8. 侵入	